

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3890100427
法人名	株式会社 ことぶき
事業所名	グループホーム ゆうかの里
所在地	松山市北条辻922番地3
自己評価作成日	平成21年10月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年12月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

寝たきりにせず、本人らしい生活が出来るよう安心して暮らせるように努力する。
自己のないように介護を心掛けている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は「愛のはな咲くゆうかの里」をモットーに、ご本人はもちろん、地域、ご家族等に対しても「愛を持ったかわり」を大切に運営できるよう努力されている。法人代表者は、毎月行われる職員会議で「法人が目指していること」を職員に語っておられる。
玄関にはお花が生けてある。「愛」を持って「オアシス」の挨拶を心がけられるよう、代表者の手書きで掲示されている。テーブルの周りを囲んで、利用者が座るようになっている。事業者では、1階のガラス張り面にカーテンをすることについて、閉鎖的になっていないか検討されている。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目: 30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目: 28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム ゆうかの里

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏名 渡部 庸

評価完了日 平成 21年 10月 30日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			職員全員が理念・運営方針に基づき入居者の介護に勤める	
			(外部評価)	
			事業所は「愛のはな咲くゆうかの里」をモットーに、ご本人はもちろん、地域、ご家族等に対しても「愛を持ったかわり」を大切に運営できるよう努力されている。法人代表者は、毎月行われる職員会議で「法人が目指していること」を職員に語っておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			地域の中の施設として地域の方が気軽に立ち寄ってくれるホームとしたい	
			(外部評価)	
			事業所開設時には、ご近所や地域の役員の方達に個別に挨拶に回られた。法人代表者は地元の方であり、お知り合いも多く「読み聞かせ」「伊予万歳」のボランティアの方等が来てくれている。秋祭りにはみこしが来て、利用者も見物された。又、昨秋は、小学生が数回訪問してくれ、利用者は一緒に折り紙やゲームをして楽しまれた。	事業所は「地域の方が気軽に立ち寄ってくれるようなホーム」を目指しておられる。地域の方が立ち寄りやすい雰囲気作り等について、職員で話し合い取り組みを具体的にすすめていかれてほしい。又、今後、小学校との交流の継続や、近くの幼稚園や保育園等とも交流することをすすめるために事業所から、まずは働きかけていきたいと考えておられた。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			地域の保育園・幼稚園に声か消し、子供たちにホームの入居者の生活状況等を見ていただきお年寄りをいたわる気持ちを持ってもらう。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の方々にホームの内容の話や感想を聞き、サービ スの向上に向けて努力する。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議は、2か月ごと、1階ユニットの居間で行ってお られる。法人代表者の挨拶や個々が自己紹介されたり、 日々の写真をお見せしながら利用者の現況報告等をさ れたり「高齢者虐待・身体拘束」「徘徊とその対応」 「インフルエンザ」等、毎回議題を決めて意見交換を されている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の社会福祉協議会・包括支援センターと密に連絡 を取り協力してもらう。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議に市の担当者や市社協、地域包括支援セ ンターの担当者に出席いただき、事業所から報告した 課題点や取組みについてアドバイス等をいただいで いる。市の担当者からは「利用者さんの顔が地域に見 えてくるようなホーム作りができればいいですね」と アドバイスをいただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体高速は絶対しない方針で気長く本人の状況を把握 する。</p> <p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時、玄関を開けておられた。身体拘束につい てのマニュアルを配布して、職員は必ず目を通すこと になっている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員会や勉強会において、常に身体拘束はないよう努力している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 職員会（勉強会）での話し合いをして、家族にも活かし理解を得るように常に対応している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居の時点で家族との入居のための理解をもらい、不安のない生活をせってもらうように説明を行っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族の意向も汲むため家族会を持ち本人の気持ちをまず大切にしたい。 (外部評価) 法人が替わる前に、法人代表者は、ご家族に法人の説明をされ理解をいただいた。その際に要望等も出された。昨年秋祭り時には、ご家族もお誘いして同一日に家族会も開催された。	 ケアマネージャーは、今後、ご家族一人ひとりとお会いしてゆっくり話すような時間を取りたいと考えておられる。ご家族の知りたいことや不安・心配ごと等を聞く機会や、ご意見をうかがったり、話し合いができるような機会を作っていかれてほしい。今後さらに、ご家族との関係作りに積極的に取り組んでいかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			毎月の職員会には問題があれば充分討議して反映させる。	
			(外部評価)	
			毎月行われる職員会議時に、業務について職員間で意見を出し合い決めておられる。又、職員から身体介護や食事介助等の、日々のケアについて相談があり、管理者やケアマネージャーがアドバイスをされている。	現在、職員の入れ替わりも落ち着いてきたようである。ケアマネージャーは、今後、職員が外部研修を受けることができるよう案内したいと考えておられる。すべての職員が集まる職員会議を活かして、ケアについて勉強するような時間を設ける等、事業所内でも職員がスキルアップできるよう取り組みをすすめていかれてほしい。今後さらに職員のスキルアップをすすめて、事業所のケアの質向上を目指していかれてほしい。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			他のホームの状況を聞き職員の不満の内容介護してもらうように努める。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			各研修会には、積極的に参加してもらいその会の内容等の報告を職員会話し合うように努めていく。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			他の施設の状況も聞き職員会や見学ともさせてもらい向上に努める。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入居相談があればよく話しを聞き安心して入居できるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>初期入所の方には、ベテラン職員が対応し不安のない安心できるよう説明を充分する。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居当時は、生活に馴れない不安があり、ゆっくりと本人の性格等を把握して介護するように努力する。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者がすべて安心し、不安のない日々が過ごせるよう全員が仲良く暮らせるよう努力をする。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族の協力は絶対必要であり本人のとっても家族に会いたいと思うので日常の面会なども呼びかける。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居前の生活の充分聞き、急に生活状況が変わらない努力もし、知人か家族の来訪も願う。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人の希望で職員が同行して、お墓参りに出かけたこともある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 入居者同士が仲良く生活していられるように職員が見守る。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 事情があって退所されても、家族から様子や状況を知らせてもらい縁をつないでいる。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人が何を望んでいるか・どうして欲しいかを早く知りそれに向けて努力をする。	
			(外部評価) 管理者は、楽しい雰囲気作りに努めておられる。職員は、利用者日々かかわる中で、ご本人の言葉を受け止めるように努力されている。利用者個々のフェースシートには、ご本人の生活歴や趣味等が記入されていた。	さらに、すべての職員が利用者への日々のかかわり方を工夫してご本人の思いや願い、要望を探っていかれてほしい。又、職員は、利用者個々の現状把握に努め、事業所が目指す「ご本人の意欲につなげられるような介護計画の作成」に取り組んでいかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居者の入居前の生活も充分考慮して介護する。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 入居者の以前の生活をよく知り少しずつホームの生活に馴染めるように努める。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			介護計画に基づいて、本人の生活が第一位に考え少しづつでも良い介護が出来るよう全員で考える。	
			(外部評価)	
			先月、ケアマネージャーが交代されたところで、現在、利用者順次に介護計画を作成している途中であった。これまでは、ご本人、ご家族の要望等もお聞きして介護計画を立てておられる。	ケアマネージャーは、今後「利用者個々の身体機能の維持向上や意欲につなげられるような計画作成に取り組んでいきたい」と話しておられた。ご本人が困っていることやご家族の希望や提案等も十分にお聞きしながら、現状に即した介護計画を立てていけるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			個別の介護計画を基本にし、もし変更したほうが良いと考えたときは職員の協議により見直すこともある。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			本人の身体状況や生活状況みて変更する必要があるれば柔軟な対応をする。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			地元の小中学校や公民館行事に参加させてもらい地域のホームとして取り組んでいく。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			入居者が病気にかかれば嘱託医・協力病院へ連絡し往 診してもらえる状況である。	
			(外部評価)	
			協力医の往診時や電話等でも相談できるようになっ ている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			看護師を職員として勤務しており、日常の身体上のこ とについては常に観察している。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			入院時に退院予定日が分かれば医師の指示を受け、長 期入院が必要でなければ部屋も確保している。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			終末になれば、家族に相談してそれに伴う対応をして いく。出来るだけ、最後までお世話するように努め る。	
			(外部評価)	
			事業所では看とり支援については、医師とご家族が話 し合いをして「ご家族の理解が得られ、事業所の体制 が対応できると判断した場合、事業所で看とり時のお 付き合いをする」こととされている。調査訪問時に は、医師の指示を仰ぎながら、管理者はご本人に付き 添っておられた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			勉強会の時に、看護師による応急対応の事も取り入れて行っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			災害時の対策の為、日常より防災訓練を行い地域の周辺の住民の協力をお願いしている。	
			(外部評価)	
			消防署の方の協力を得て消火訓練等を予定されていたが、雨天のため、消防署の方が事業所内の居間で「消火器の使い方」や「避難」について等、口頭で説明してくださった。運営推進会議で区長や民生委員の方に、いざという時の協力をお願いされている。さらに今後、夜間時の避難訓練や実際に利用者とともに訓練を行う等、利用者、職員の安心・安全に向けているような取り組みを重ねていかれてほしい。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			個人個人の性格や今までの生活を把握して、本人の納得のいく対応に努める。	
			(外部評価)	
			法人代表者は「愛をもってかかわることの大切さ」を職員に語り、職員も賛同して心がけておられる。ケアマネージャーは職員に「利用者に対して丁寧な言葉で話しかけること」を伝えておられる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			入居者本人の希望があれば出来る限り希望がかなえられる様にしてあげる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 日常生活上なるべく個人の気持ちをプランに組み入れ、希望にそった介護をする事も必要であるのでそれを大切にする。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 服装は本人の好むものを着てもらい、散髪は隣の理容室をお願いしている。美容院へは本人の希望に基づいて連れて行く。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 月一階の嗜好調査もし、行事食も考え食事の後片付け等も少しだけでも手伝ってもらっている。 (外部評価) 現在、職員は、利用者の食事を作り味見はされているが、個々にお弁当等を持参して利用者が食事をした後に食べるようにされている。食事時には、演歌等が流れており、利用者の食事中は、職員が側にいて介助に徹しておられる。ゆっくり食事をされている利用者が見られた。	日々の食事支援について、職員がかかわることによって、食事がより楽しめるよう工夫ができないか、話し合ってみてはどうだろうか。又、食事一連の流れの中で、利用者ご自身の力を活かせるような場面を増やしていかれてほしい。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養献立は、充分考えており、おやつ(10時・15時)には水分補給も必ず注意している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食事後は、出来るだけ歯磨きをしてもらい出来ない人には、職員が口の中を脱脂綿で拭き取りを行っています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 昼間は、なるべくトイレ誘導し、自力で排尿・排便をしてもらいやむを得ない人は、オムツを使用してもらっている。 (外部評価) パットを利用されている利用者の方もトイレで排泄できるよう職員が声をかける等、誘導されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 日中は、出来るだけ運動をし居室にはいないよう何か出来る事をしてもらう。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 基本的に曜日を決めているが本人が入浴したいとの申し出があれば随時入浴をさせてもらうように努める。(特に夏期) (外部評価) 1階の浴室に入るには段差があり、入ることがむづかしい方も半数ほどあり、事業所では、脱衣所に寝た状態のまま浴槽で温まれる「仮設補助浴槽」を置いて使用されている。入浴時には身体の前にタオルを掛け配慮されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 昼間は、なるべく居室にいないでホールで過ごしてもらい昼寝は、してもらわないようにする。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 日々の薬は、決められたように飲んでもらい職員が間違いないように確認をする。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 本人の趣味に応じたものがあれば、それをさせてあげ昔のことを思い出してもらっている。何か引き出しさせてあげる。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気の良い日は、なるべく外に連れ出し気分転換をさせてあげる。外気にふれられるよう努力する。	
			(外部評価) 近くの公園に散歩に行かれたり、時には朝食前に車椅子で外の空気を吸いに出られることもある。調査訪問時、2階の利用者が職員と外階段の上がり降りをされていた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金は基本的に本人が持たないよう家族にお願いしている。本人が持つと紛失する事が多い。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話したい希望があれば自由にさせてあげる。年賀状などは本人が出せる人は書かせてあげる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>日中は、軽音楽をかけ又、テレビを見る時間はみてもらい明るいホーム作りに努力する。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関にはお花が生けてある。「愛」を持って「オアシス」の挨拶を心がけられるよう、代表者の手書きで掲示されている。テーブルの周りを囲んで、利用者が座るようにしている。事業者では、1階のガラス張り面にカーテンをすることについて、閉鎖的になっていないか検討をされている。運営推進会議等でご意見をうかがいながら、工夫と配慮をされてほしい。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>天気の良い日は、屋外のほうへ出てもらって、裏の畑で作ったものを見たりしている。利用者個々が思い思いの時間を楽しませてあげる。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>本人の昔の生活の馴染みのものがあれば持ち込んでもらい家族の希望も聞いて対応している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご自宅から持ち込まれたタンスを使っておられる方もあり、それぞれに衣服等が収納されていた。似顔絵を飾っておられたり、ご自分で折った折り紙の作品が飾られていた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>本人が安心してある程度満足できる生活がおくれるように全職員が歩調を合わせて介護に勤める。</p>	